

平成28年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)の概要

1 顕彰式

- (1) 日時 平成28年11月15日(火) 午後2時～午後2時40分
(2) 会場 群馬県庁 正庁の間(7階)

2 受賞者

8個人・4団体 計12個人・団体

氏名または名称(敬称略)	受賞分野
いがらし まさとし 五十嵐 雅敏 (一社)群馬県浄化槽協会理事	環境の保全及び創造の分野
おおかわ ひろゆき 大川 博之 (公社)群馬県環境資源保全協会理事	環境の保全及び創造の分野
やまぐち まきお 山口 牧夫 安中市環境審議会会長ほか	環境の保全及び創造の分野
FDK株式会社 高崎工場	環境の保全及び創造の分野
桜山きづきの森	環境の保全及び創造の分野
かきぬま としお 柿沼 壽男 太田市環境保健委員長	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
こみね ゆういち 小峰 勇一 高崎市環境保健委員	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
こいけ まさゆき 小池 正之 群馬県自然環境調査研究会会員	自然保護の分野及び野生生物保護の分野
なりた まさし 成田 正嗣 (特非)群馬県自然保護連盟理事	自然保護の分野及び野生生物保護の分野
館林ムジナモを守る会	自然保護の分野及び野生生物保護の分野
すとう きょうこ 須藤 京子 日本野鳥の会群馬会員	野生生物保護の分野
藪塚猟友会	野生生物保護の分野

3 顕彰の目的

良好な環境の保全及び創造並びに自然保護に顕著な功績があったものに対し、群馬県環境賞を授与し、県民の環境に対する意識の高揚に資することを目的とする。

平成28年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)受賞者の功績等

番号	受賞者(敬称略)	功績概要及び活動状況
1	五十嵐 雅敏 (伊勢崎市)	群馬県浄化槽協会理事として、浄化槽の適正管理や生活排水対策における重要性の普及に努め、本県の水環境の保全や排水処理の改善に貢献している。 また、地域の河川清掃活動や「21世紀の森」の下草刈り作業に積極的に参加するなど、環境保全活動に尽力している。
2	大川 博之 (みどり市)	群馬県環境資源保全協会理事として、廃棄物投棄防止の立看板設置や巡視パトロール等の不適正処理防止啓発活動を行政機関と連携して展開し、生活環境の保全に貢献している。 また、循環型社会の形成に係る研究会・講習会の開催に携わるなど、環境保全意識の普及啓発に尽力している。
3	山口 牧夫 (安中市)	環境カウンセラーや群馬県地球温暖化防止活動推進員として、環境学習会や公民館での講演会等に参画し、地域における環境学習の推進に貢献している。 また、安中市環境審議会会長として、安中市環境基本計画の策定等に携わるなど、環境保全意識の普及啓発に尽力している。
4	F D K株式会社 高崎工場 (高崎市)	社会貢献活動として小学校へのお出前環境授業を8年間で11回行い、児童の環境意識の高揚に貢献している。 授業においては、児童がふだん使用している電池を題材としてクイズや実験を取り入れ、ものを繰り返し使うことの大切さなど、児童の環境問題に対する関心の向上につなげている。
5	桜山きづきの森 (藤岡市)	約10haの森林の整備を15年にわたり年間10回程度実施し、その作業においては、未経験者でも可能なように安全性の確保や技術の習得等を考慮して取り組んでいる。 また、森林管理と里山の開放により子供たちの森林環境教育を実践し、森林環境の保全に貢献している。
6	柿沼 壽男 (太田市)	太田市環境保健委員長として、12年間にわたり地域のごみステーションの管理・清掃やごみの分別収集等に取り組み、地域の環境美化の推進に尽力し、環境保全意識の普及啓発に貢献している。
7	小峰 勇一 (高崎市)	高崎市環境保健委員として、31年間にわたりごみステーションの管理や資源物の分別指導、地域の環境パトロール等を行い、地域の環境美化の推進に尽力している。 また、近隣町内の環境保健委員とも連携し、環境保全意識の普及啓発に貢献している。
8	小池 正之 (桐生市)	群馬県自然環境調査研究会の動物部門の中心メンバーとして長年にわたり調査活動を行い、本県の絶滅のおそれのある野生生物の調査研究に尽力している。 また、館林市や板倉町において自然環境に関する調査に携わるなど、自然環境の保全に貢献している。
9	成田 正嗣 (前橋市)	県内の山地湿原や山岳地域における昆虫類の分布、行動、生態などの調査に携わり、野生生物の保護に貢献している。 また、群馬県自然保護連盟理事として、自然観察会や清掃登山などにおいて長年にわたり指導員を務め、自然保護の普及啓発に尽力している。
10	館林ムジナモを守る会 (館林市)	館林市の多々良沼にかつて自生し、国の天然記念物に指定されていたムジナモの人工栽培技術の確立など、長年にわたりその保護及び増殖に取り組んでいる。 多くの館林市民に貴重な植物の里親になってもらうために配布会を行うなど、ムジナモの飼育を通して野生生物の保護思想の普及啓発に貢献している。
11	須藤 京子 (高崎市)	日本野鳥の会群馬の探鳥会活動や愛鳥モデル校の巡回指導において、野鳥の保護や環境美化が自然保護につながるることについて指導し、野生生物の保護に貢献している。 また、野鳥の森管理担当として、長年にわたりごみの回収や森林維持活動を行い、環境保全意識の普及啓発に尽力している。
12	藪塚猟友会 (太田市)	狩猟事故防止指導員による指導や狩猟パトロール、射撃研修会などを実施し、狩猟の適正化や狩猟知識の普及に尽力している。 また、鳥獣保護区等標識の設置や県及び県猟友会の放鳥事業への協力、行政機関の要請による有害鳥獣捕獲事業等を実施するなど、野生鳥獣の適正管理に貢献している。